

KSKP BUG^{バグ} No.72

発行人/関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015大阪市天王寺区真田山町2-2
東興ビル4F
編集人/〒601-8036 京都市南区東九条松田町62
NPO法人日本自立生活センターワークス共同作業所
TEL (075) 682-3201
FAX (075) 682-3330
http://kyoto-j-works.com/
Eメール saba@mediawars.ne.jp
編集責任者 大崎雅彦



書/小松満雄

いく道もまた、道。

目次

特集

- 「新年度の抱負」 大崎所長のあいさつ 2
- 新しいワークス号と新しい取り組みについて 3
- アートフェスタの告知と作品募集の呼びかけ 4

連載

- ひろがれ ワークスの輪「Pan-Pan-Bread」 6
- イベント報告 お花見、希望の家春祭り、聖林院みみづく便り 7
- ワークスリレー・エッセイ・自立生活と私「～支援者の視点から～」 小泉浩子 8
- NAKAJIMA'S EYES 「昭和と自分」前半 9
- あしあと～夏季休暇のお知らせ～ 10

新年度の抱負 2015年度は進化の歳に

EVOLUTION

新年度です

ワークスは1996年5月生まれで丸19年、20年目に突入です。

ワークス共同作業所が生まれたのが行政の補助金(助成金)で動き出した最初だと思
います、それから20年……。

仲間の会40年、日本自立生活センター(以下JCIL) 30年、自立支援事業所が10年。

みんなで仕事、就労、働くを考えようと始めた作業所がいつの間にか、誰かの作っ
たメニューから選ぶ「計画」とその「計画」の成果を記録する作業所になってしま
いました。「みんな」で作ろうが「利用者様」と「支援者」になってしまいました。
今更、止めることも、辞めることも、許されない状態です。

もちろん昔が良かったと単純に言えるものではありません、一緒に活動する「みんな」
は色々な人達で構成されています。

それでも地域社会に住んでいる「みんな」は自分たちの生活を自分で(サポートを
受けてでも)決めて主体となって生きていくことを求めていると思います。

「人権意識のある多くの人たちの願いと協力を背景として『対等・平等に生きる権
利』を行使して社会に大きく貢献する自立生活運動を推進することの責任が課せら
れたことを自覚し行動しなければならない。」日本自立センター基本理念より厚か
ましいおっちゃんとおばちゃんになって生きていく(実は当たり前)。

2015年度も動きましょう。若者達もちゃんとしてこないよ。おいていくよ!

所長 大崎 雅彦

新しいワークス号と 新しい取り組みについて

新しい車を購入しようと考え3年の月日が流れましたが、遂に納車の運びとなりました。発注から半年、3月16日(月)に納車しました。

車両本体はインドネシア製ワゴン車トヨタタウンエースバン 1500GL、2WD、4A/T。手動運転装置 (AM10型) リフト、マイセルフ車 Myself(電波式リモコン付き)車いす利用者が単独で乗降・運転。リモコンで後部ドアを開けリフトを展開、室内に乗り込み、リフトを格納してドアを閉め、運転席へ乗り移り、運転 (ニッシン自動車製)。

先代のワークス号ハイゼットアトレーは、専らイベントの搬出入に使っていたのですが、段々に荷物が増えて軽自動車(新車両は普通車)では難しくなり引退の運びとなりました。

しかし新しい部署で(新事業展開)続けて働いていただきます。ワークスの自動車としてはまだまだ現役続行の予定です。お楽しみに。

この車両は京都中小企業家同友会有志アクト・ユートピア様よりご寄付を頂き今回購入の運びとなりました。ワークス発展のため大事に使います。ありがとうございました。



新車の全体写真



運転席がこちら

新コーナー

みみづくさんのつぶやき

ここではワークスの日々をお知らせするコーナーにしたいと思います。
みみづくさんはいろんなことを聞いていますよ。

つぶやき

- ★毎月8日の天然酵母のパン販売は、メニューの変更のため9月までお休みです。次回の販売は10月8日のほていまつり。
- ★まもなく「あの手相鑑定」が聖林院で再開しそうです。
- ★8/11は18:30から「キャンドルナイト」を行う予定です。当日は出店販売を行う予定です。また作品展も聖林院本堂にて予定。(入場無料)



ART FESTA 2015のお知らせ

昨年開催したアートフェスタを今年も開催します。

昨年は、周年事業の一環として企画した作品展ですが、その様子は大きく新聞にも取り上げられ好評でした。このコーナーでは、今作品展の主催をつとめるJCIL&ワークス共同作業所の作品展担当で、ワークス共同作業所長の**大崎雅彦**より、この作品展についてご案内します。☆ワークス共同作業所のHPにも特設サイトを設けておりますので、ぜひご覧ください。

ART FESTA 2015 開催のご案内 作品募集のお知らせ

ワークス共同作業所は第2回アートフェスタ2015を行います。

つきましては作品を募集いたします。

応募資格は障害のある人とその周りにいる人。ジャンルは問いません。

絵画、彫刻、陶芸、写真、工芸、その他(生ものは不可)。

今年のテーマは「Evolution(進化)」です。

自分の中でエボリューション的な部分を見つけて作品にしてください。

応募期間は6月1日～6月末までです。

作品展は夏の終わり、場所は京都市地域・多文化交流ネットワークセンターにて開催。

皆さんの出品お待ちしております。

作品展担当 大崎雅彦



お問い合わせ、
申し込み要項等は
ワークスまで。



JCIL&WORKS Art Festa 2015

日本自立生活センター&ワークス共同作業所アートフェスタ2015

障害のある人が地域や施設で生活していく中で自分を表現する手段としての芸術、工芸の作品を募集します。今回のテーマは「エボリューション(進化・発展)」です。現在の生活や趣味を一步前進、進化させ新たな挑戦をイメージする作品。障害のある人や周りの人たちがどのようなことに挑戦して創作活動をしているのかを芸術工芸作品を通して見てもらう場とします。

テーマ 「Evolution (進化、発展)」
日時 2015年8月22日(土)~24日(月)
場所 京都市地域・多文化交流ネットワークセンター
内容 障害者及び関係者の芸術文化工芸作品展
(原則として全ての応募作品を展示)

募集作品 絵画、陶芸、写真、書、彫刻、その他

応募資格 障害のある個人又はグループ及びその関係者

応募期間 2015年6月1日~6月30日まで(必着)

※ 作品募集要項はJCIL・ワークス共同作業所で配布

応募方法 別紙(申込書)に必要事項を記入の上、受付確認の書類を送付する封筒(住所氏名を記載、切手貼付)を同封のうえ事務局まで送付してください
受付後、受付番号を記載した受付確認表を送ります

作品形態 絵画、写真、書 → 500mm(幅)×1,500mm(高さ)(壁面に吊り下げ可能な額装を含む)
彫刻、陶芸、工芸等 → 500mm×500mm
20kg以下の平面に設置可能なもの

出品料 無料(搬入、搬出の経費は各自負担)

作品展示 原則として応募のあったすべての作品を展示しますが、応募点数が多い場合展示できない可能性があります
参加希望者が集中した場合は、厳正なる抽選・審査の上、参加を決定させていただきます場合がございます

作品搬入 持込み(ワークス)・郵送・宅配(元払)による
作品票を必ず貼付してください

作品搬出 直接引取り(ワークス)・宅配(着払)

その他

- ・出品作品については充分注意して取り扱いますが、天災、その他不可抗力による作品の破損等の責を負いません
- ・規格外の作品は受付できませんが、規格内であっても、主催者の判断により受付をお断るすることがあります。(生物、他の作品に影響を及ぼす作品等)
- ・第三者の権利を侵害する作品、またはその他の理由により、当イベントの展示内容にふさわしくない作品が展示されている場合には、事務局の判断により撤去させて頂く場合がございます
- ・事務局では広報を目的として、会場風景や出展内容を写真・映像撮影させて頂きます
撮影された写真はウェブサイトや印刷物にて使用させて頂く場合がございますので予めご了承下さい

申込・問い合わせ

日本自立生活センターワークス共同作業所、
アートフェスタ係(担当、大崎雅彦)

TEL:075-682-3201 FAX:075-682-3330 E-mail:info@kyoto-j-works.com

主催、JCIL・WORKS周年記念プロジェクト

「広がれワークスの輪」取材しちゃいました

第9回

思わず、いきなり!

「愛情満点!天然酵母のパンを」

今回は、いつもワークスオリジナルパンを外注加工して下さっている「Pan-Pan-Bread」の西川さんにお話を聞きました。ほんとおいしい~のです!

お話/西川 雅代さん 以下敬省略

~今日はパンを焼かないで手を焼かせます?けど
よろしくお願い致します。~

西川: はい、よろしくお願い致します。

~まず、どのような経緯でワークスにパンを提供
して下さるようになりましたか?~

西川: ワークスの藤原さんと知り合いだったので、
「ワークスで育てた野菜などを使って、パン
やお菓子などが出来ないかなあ~」と、相談
を受けたのをキッカケに作るようになりました。

~西川さんのパンは天然酵母とのことですが、他
のパンと、どう違うのですか?~

西川: ドライイーストと天然酵母との違いは、酵
母を作る時の原材料が違ってきます。イ
ーストは、窒素やリン酸等の化学肥料で培養
されています。天然酵母は、野菜や果物、
穀類等の原料で、自然に発酵させて作った
ものが酵母です。酵母の方が、体にとって
は“優しい”と、言われています。

~毎月ワークスの畑の作物を使ってパンを作って
貰っていますが、どのような点に注意して作っ
ていますか?~

西川: その時、その時によって野菜の出来栄が
違うので、出来た『作物の顔』を見てレシ
ピを考えています。例えば、同じ種類の野
菜でも、水分量が多かったり、少なかった
りするので、作りづらい時もあります。

~今、特におすすめのパンは何かありますか?~

西川: 種類のパンだけでなく、どのパンも出来
るだけ体に優しい原材料で作っているの
で、甘い系のリッチなパンも、あっさり系
のパンも、色々と味わって頂きたいです。



こちらも人気のオリジナルケーキです。

~最後に、ワークスと関わるようになり車いすの
人と話をする機会が増えたと思いますが感想等
ありましたらお聞かせ下さい。~

西川: 以前、丹後に住んでいた時も、作業所にパ
ンを卸していたので、車いすの方だけで無
く、色々な方と良くお話をしていました。
一人ひとり、それぞれの弱さを克服しなが
ら生活されているので、私の方が刺激を受
けたり、勉強になることが多いです。これ
からも、自分なりに『体に優しく、美味し
いと言って頂けるパン』が焼けるように、
自分自身を磨いていきたいと思っています。
どうぞ、よろしくお願い致します。



アイデア次第で更においしくなります!

取材にあたって

手づくり市などで、西川さんのパンを販売して
いますが、リピーターの方にも、とても人
気です。原材料にもこだわる「ワークスオリ
ジナルパン」をこれからもよろしくお願い致
します。

イベント情報 告知～報告

こんなことありました!

お花見を楽しみました

4月7日(火)に梅小路公園にて、JCIL合同お花見会が開催されました。前日までの雨で葉桜になってしまっているかと心配したが、まだ多く残っていました。

自己紹介の後、お弁当や飲み物、おやつなどが配られ、またクイズや色々なショーなどで大いに盛り上がり、楽しい1日を過ごしました。

ただ、真冬並みの北風が強く、花吹雪の中、震えている人も居たのが残念でした。



曇天の中のお花見になりました・・・

東九条春祭りに参加して

東九条春まつりは、昨年12月から実行委員会がはじまりました。初めのうちは、3週間に1度、そして2週間に1度と、会議の頻度も高くなりました。実行委員の会議の時は、ほとんど天気が悪い時で、雨か雪かが降って、帰るのがつらい時もあり、ワークスは椿森と小松が会議に出ていました。

今年の春まつりは、食べ物が少ないとの情報を実行委員会にて得て、初めて約100個ほどパン、シフォンケーキ、チョコレートシフォンケーキを売りましたら、2時間ほどで完売しました。綿菓子の方も良く売れました。天気が良かったのでみんな良く売れました。



笑顔でパチリ!



わた菓子は大人気!

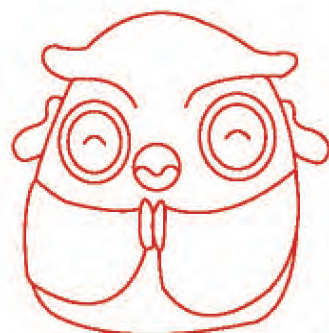
聖林院 みみづく便利

こんなことあります!

キャンドルナイト～みみづく献灯会～のお知らせ

日時 / 8月11日(火) 午後6時30分～ (雨天決行)
協力 / NPO法人まちづくりネットワーク

午後1時からいつもの出店に加えて、山内解放して、写真展、カフェ、子どもたちとのあんどんづくりなど、楽しい企画を予定しております。夕方からは、キャンドルを灯してみみづくさんに願い事を・・・。詳しくはワークスまでお問い合わせください。



ワークスリレー・エッセイ 「自立生活と私」 ～支援者の視点から～

小泉浩子

自立支援とは…?

今回のリレー・エッセイ「自立生活と私」は、今までのエッセイを振り返りつつ、支援する方の視点から考えた自立生活について考えました。

今回の筆者は、NPO法人日本自立生活センター—自立支援事業所管理者の小泉浩子氏です。

私は、日本自立生活センターで居宅介護事業所を担当しています。日本自立生活センターは、障害当事者団体で、障害者の地域生活を獲得するために日々活動を行っています。

その動きの中で、障害を持ちながら地域で生活を行うためには、介護者が必要。という意味合いで、2003年に居宅介護事業所「自立支援事業所」の設立となりました。居宅介護を通して、さまざまな「障害」を抱えている方との出会いがあります。

行政は、まず、私たちを大きく「障害者」という括りをします。そして、制度に当て込むために、「知的」「精神」「身体」に区分けされてしまいます。私たちの日常を行政が決めた枠組みの中に入れ込まれてしまいます。

でも、私たちが考える、生活は、障害者だからとか、障害種別などで決め方をしてほしくはなく、「自由」に自分の責任の下で生活を送っていきたいです。

そのためには、どうしたらいいのか？そのことを一緒に考えていくことが、「自立支援」と考えています。「自立」の考え方は、いろいろあります。経済的な自立。自分のことは自分で出来るようにする。親から離れる。一人暮らしをする。主体的に生きる。などなど・・・

6月26日三陸浄土ヶ浜にて、中央…小泉さん



プロフィール

幼少時脳性まひとなり91年故長橋榮一氏に出会い、薫陶を受けられます。その後、京都市の24時間介護保障を実現するほか、ALS、重度知的障害者の支援にも関わられ、その人柄から多くの人に慕われています。

今、ここで考える、「自立支援」は、「自立」とは何か？の意味合いは、あまり重要にはしていません。それぞれの人が、それぞれの思いで生きていけるよう。一緒に考えていく。そして、最終的に、「制度」を当てはめる。与えられた枠に、自分を当て込むのではなく、自分の思い、自分の生活に、制度をもってくる。もしも、自分の当てはまる制度がなければ、それは、行政も一緒に考えてもらう。そういった考えで「自立支援」を行いたいと思っています。

もちろん、うまくいかないことだらけです。毎日あたふたしています。でも、それぞれの人が「自分」をあきらめなくていいように、一緒に考えていきたいです。

三陸鉄道に乗りに行こう

JCILが取り組む「自由発見の旅」。あえて公共交通機関を使った旅行することで、社会の動きを知り、自立生活のノウハウを身につけていくことを目指すこの旅も今回の三陸鉄道に乗りに行こうで20回を迎えました。

JCIL矢吹代表の働きかけのもと、発災後の全線復興にあって、バリアフリー化への確約をくれた望月社長、勝手に応援する会の皆さん、また、また行きます！

三陸鉄道→www.sanrikutetsudou.com



三陸鉄道全駅に「三陸鉄道を勝手に応援する会」からスロープが寄贈されました。

NAKAJIMA'S EYES

昭和と自分 前半



私は1949年（昭和24年）の8月生まれだ。小学校は皆より1年遅れで入る。小学校3年の5月まで、中京区の三条商店街を北へ1分の所に住んでいた。壬生寺や神泉苑へ狂言をよく観に行った。10歳で右京区の嵯峨野に引っ越した。

夏休みになると、桂川では川を堰き止めて簡易プールが作られ、そこで1日中泳いでいた。夜釣りでもカマツカや鰻や鯰を良く釣った。

綵原堤（ふしはらづつみ）は笹だらけで、蛍がよく飛び交っていた。川の水もそれだけ綺麗だったのだ。

お米は配給制だった。そして日本の経済成長も、1954年の神武経済、1960年岩戸景気、1965年いざなぎ景気へと成長して行った。

日本では、新幹線の開通（1964、10月1日）オリンピック開催まで10日の猶予も無いのに、開通させてしまった。東京オリンピック（1964、10月10日）15歳。

大阪万国博（1970）、20歳から21歳だ。愛知県の職業訓練校にいた。種子島の友達と愛知から大阪まで、新幹線でわざわざ観に帰って来た。自宅は京都なのに……………。

1965年～70年代になると、フォークソングも沢山作られるようになり、空前のフォークソング・ブームが到来する。学生運動（1968～1969）も活発になる。

1970年3月31日、「よど号」乗っ取り（ハイジャック）。東大安田講堂占拠・封鎖。赤軍派の浅間山荘立て籠もり事件等（1972年2月19日～2月28日）。

1973年、日本では第1次オイルショックが起きた。日本からトイレットペーパーが無くなっていった。

戦後の昭和人は、元気で何事にも粘り強く取り組む「職人気質」の人が多かった。そして勤勉に働き続け、近所付き合いも親しく、仲間意識も強かった。

地蔵盆も賑やかで、大人も子供も一緒になって楽しんでた。

昭和は活字の時代でもあった。今では活字を使わなくなり、漢字もあまり書かなくなり、本もあまり読まなくなった。日本独特の言い回しや漢字の持つ意味の奥深さが伝わらなくなってしまう様な気がする。「漢字や諺」に関する番組は多いけどね。

何でもライン（無料通話）やインターネットで片付けてしまい、人間同士のコミュニケーションが少なくなり、「近所は何をする人ぞ」になってしまった。

このコーナーへの感想やリクエストをお待ちしております

NAKAJIMA'S EYESでは、皆さんからの感想や、テーマのリクエストを募集しております。BUG編集係までお気軽にお便りください。



手づくり市であいましょう。—— ワークスは、皆さんのまちにいきます。

毎月8日・・・ほていまつり（宇治・黄檗山萬福寺）
毎週火曜日（午後1時～）/8日/24日・・・宇治・黄檗山聖林院
毎月第三日曜・・・京都・藤森神社（※開催日変更有り）

オリジナル商品
占いも人気上昇中！

あしあと

2015年 3月~5月

2015年

- 3月15日 (日) 藤森手作り市
- 3月16日 (月) 新ワークス号納車
- 3月21日 (土) 石切神社手作り市に新事業で参加
- 4月 7日 (火) お花見(梅小路公園)
- 4月 8日 (水) ほていまつり
- 4月18日 (土) 東九条春まつりに出店参加
(パン、綿菓子、ピーズを販売)
- 5月 1日 (金) 畑
- 5月 5日 (火・祝) 聖林院は開放
- 5月12日 (火) 畑、雨で作業できず
- 5月18日 (日) 藤森手作り市
- 5月25日 (月) ~27日 (水) 営業部長、岩手へ

姫のつれづれ日記

アメニモマケズ・・・ demi



皆様のご意見・ご感想を編集部までお寄せください。お待ちしております。

編集後記

team BUG

新年度が始まり新たな気持ちで色々な事に取り組んでいきたいと思えます。今年度は各地にインタビューに出て行く数も増やしたいかなあとあったりもします。
(少し文句垂れ増)

今回も前回と同様、あまり携わっていませんが、少しでも手伝うことが出来て良かったです
(D・E)

今回のバクの編集ができませんでした。また頑張ります。今年はずいす仲間の会が40年目です。
(M・M)

今年もすでに半年が過ぎました。この半年間、体調もよく、私の大好きな宝塚も観に行くことができました。今は、アートフェスタ2015に向けて、作品を制作しています。心にひびく作品が作れるよう頑張っています☆皆さんも、ぜひアートフェスタに作品を出品して頂き、またご覧下さるよう、よろしくお願いします。
(Demi.N)

夏期休暇のお知らせ

8月12日(水)~16日(日)までお休み致します。

